

母性看護方法論

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・学修方針（講義概要等）

新しい家族の誕生のスタート時期にあたる妊娠期および分娩期にある対象の身体的・心理社会的特性を理解する。そして、母児ともに健康な妊娠経過および分娩経過をたどることを促す基本的な看護のあり方を学ぶ。具体的には、妊娠期の母体の生理的变化、胎児の発育と生理的变化、妊娠期の心理社会的特性、妊娠期の看護、分娩の要素と経過、分娩期の看護、各期の異常、看護過程（事例展開）、看護ケアの実際について学修する。

・教育成果（アウトカム）

妊娠期・分娩期にある対象者の生活と健康を支えるための対象の特性を学ぶことにより、妊婦・産婦および胎児の健康の保持増進と異常を予防するために必要な母性看護の基本的知識および看護ケアの基本を理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 7

・到達目標（SBO）

1. 妊娠経過に応じた母体の身体的、心理・社会的変化・特徴について説明することができる。
2. 妊娠経過に応じた胎児の成長・発達について説明することができる。
3. 分娩の機序について説明することができる。
4. 分娩経過に応じた母体の心身の変化・特徴ならびに分娩進行が胎児に及ぼす影響について説明することができる。
5. 妊娠期および分娩期にある対象者の生活と健康を支えるための看護の基本について説明することができる。
6. 妊娠期および分娩期の異常について、そのメカニズムと対象に与える影響を理解し、異常時の対応および早期発見・予防にむけた看護の役割について説明することができる。
7. 妊娠期および分娩期における看護過程の展開について理解することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
10/2 (月) 2 限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	妊娠の成立と身体的変化 ・ 妊娠の成立、胎盤形成と胎児発育について理解することができる ・ 妊娠に伴う生殖器の変化と生殖器以外の身体的変化を理解することができる 【事前学修】 (30 分以上) 前期「母性看護学概論」(2 年前期) 妊娠の生理と看護について復習する 【事後学修】 (30 分以上) 妊娠の成立と身体的変化に関する看護師国家試験の過去問題 (WebClass 掲載) を解いてみる
10/6 (金) 2 限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	妊娠中におこるマイナートラブル ・ 妊娠中に起こりやすい不快症状の発生機序を理解し、ケアの要点を述べる 【事前学修】 (30 分以上) 講義範囲の教科書を読み妊娠中に起こるマイナートラブルにはどのようなものがあるか予習する 【事後学修】 (30 分以上) 妊娠中におこるマイナートラブルに関する看護師国家試験の過去問題 (WebClass 掲載) を解いてみる
10/13 (金) 1 限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	妊婦健康診査 ・ 妊婦健康診査における看護を理解することができる 【事前学修】 (30 分以上) 講義範囲の教科書を読み、妊婦健康診査の基礎項目を覚えてくる 【事後学修】 (30 分以上) レオポルド触診の手技と実施の要点について復習する
10/17 (火) 1 限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	健康維持のためのセルフマネジメント ・ 妊娠中の日常生活を健やかに過ごすためのケアの必要性とその要点を説明することができる 【事前学修】 (30 分以上) 教科書②P69 妊婦のセルフマネジメントを支えるためのガイダンスと目標を読み理解してくる 【事後学修】 (30 分以上) 健康維持のためのセルフマネジメントの要点をまとめる

10/18 (水) 1限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	<p>妊娠中の心理社会的変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠によって生じる心理社会的変化と妊娠各期における情緒的変化を理解することができる ・出産、育児の準備に向けた支援のポイントを述べることができる <p>【事前学修】(30分以上) 教科書②P65、表 2-5 妊娠期の心理的变化の過程から母親としての課題・関心・問題にどのようなものがあるかを確認してくる</p> <p>【事後学修】(30分以上) 講義範囲の教科書と資料を読み復習をする</p>
10/23 (月) 2限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	<p>妊娠期の異常①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響を理解することができる <p>【事前/事後学修】(各 30 分以上) 講義範囲の教科書と資料を読み予習・復習をする</p>
11/1 (水) 3限	成育看護学講座 西里 真澄 講師	<p>妊娠期の異常②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期の感染症、羊水量の異常について理解することができる ・胎児健全性 (well-being) の評価について理解することができる <p>【事前/事後学修】(各 30 分以上) 講義範囲の教科書と資料を読み予習・復習をする</p>
11/9 (木) 4限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>分娩の生理、分娩機序</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩の生理を理解できる ・小型骨盤模型を使用し分娩三要素について体験的に理解できる <p>【事前学修】(30分以上) 「母性看護学概論」(2年前期)分娩の生理と看護について復習する</p> <p>【事後学修】(30分以上) 過去の分娩期の国家試験問題に挑戦する</p>
11/13 (月) 2限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>分娩第1期・第2期の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩進行が順調か否かアセスメントできる ・小グループによる小型骨盤模型を用いて胎児の産道回旋の基本について体験的に理解する <p>【事前学修】(30分以上) 教科書②P143 のバルトグラムの一例を熟読する</p> <p>【事後学修】(30分以上) 過去の分娩期の国家試験問題に挑戦する</p>
11/15 (水) 4限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	<p>分娩第1期・第2期の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに安全な分娩に向けて産婦の基本的ニーズの看護について説明することができる ・胎児心拍陣痛図 (CTG) を判読できる <p>【事前学修】(30分以上) 胎児の産道回旋について自宅にあるぬいぐるみ等を使用し復習する</p> <p>【事後学修】(30分以上) 胎児心拍陣痛図 (CTG) の判読の練習をする</p>

11/22 (水) 3限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	分娩第3期・4期の看護 ・分娩第3期および第4の分娩経過や観察のポイントについて理解できる ・早期母子接触の利点を述べる事ができる 【事前/事後学修】(各30分以上) 講義範囲の教科書と資料を読み予習復習をする
11/29 (水) 2限	成育看護学講座 遊田 由希子 准教授	分娩期の異常 ・分娩期の異常について、そのメカニズムと母子に及ぼす影響について説明することができる ・異常時の対応および早期発見・予防の基本について説明することができる ・出生直後の新生児の蘇生の必要性の判断ができる 【事前/事後学修】(各30分以上) 講義範囲の教科書と資料を読み予習復習をする
12/4 (月) 2限	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授	看護過程① ・学生間のディスカッションを通し、健康問題のある妊婦の事例に対する看護過程を展開することができる 【事前学修】(30分以上) 第1～7回の講義内容をもとに妊娠期の看護について復習をする 【事後学修】(30分以上) 健康問題のある妊婦への看護過程の展開について要点をまとめる
12/7 (木) 2限	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授	看護過程② ・学生間のディスカッションを通し、順調な妊娠経過をたどる事例に対する看護過程を展開することができる 【事前学修】(30分以上) 第1～7回の講義内容をもとに妊娠期の看護について復習をする 【事後学修】(30分以上) 順調な妊娠経過をたどる妊婦への看護過程の展開について要点をまとめる
12/13 (水) 3限	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授	看護過程③ ・学生間のディスカッションを通し、分娩期にある事例に対する看護過程を展開することができる 【事前学修】(30分以上) 第8～12回の講義内容をもとに分娩期の看護について復習をする 【事後学修】(30分以上) 分娩期の看護過程の展開について要点をまとめる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護	中込さと子、他著	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践	小林 康江、他著	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術	荒木 奈緒、他著	メディカ出版	2022

・成績評価方法

定期試験 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書、母性看護学概論等の既習科目資料などをもとに予習した上で講義に臨むこと。講義終了後は教科書や配付資料、ノート等にて復習を行い、次回の講義に臨むこと。各授業に対する事前事後学修時間は最低 60 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業内容の理解度についてレスポンスカードや WebClass を使用し、適宜確認しながら進めていく。レスポンスカードや課題等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

助産師（別表 1）：基礎助産学

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 母性看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	小型骨盤模型と胎児を模した人形	45	グループワークで使用